

経済・業界ニュース

前年 同期比 5.5%増と顕著な伸び

四国の上期生コン総出荷量 全生工組連・全生協組連

2017年上半期の県別生コンクリート出荷実績

	官公需	前年比	民需	前年比	合計	前年比
徳島	189,888	85.4%	116,935	123.6%	306,823	96.8%
香川	171,668	74.4%	230,057	145.1%	401,725	103.2%
愛媛	218,243	119.7%	368,619	115.1%	586,862	116.8%
高知	226,789	102.9%	132,900	94.6%	359,689	99.7%
四国合計	806,588	94.3%	848,511	118.9%	1,655,099	105.5%

総出荷数量(立方m)

全国生コンクリート工業組合連合会(全生工組連)と全国生コンクリート協同組合連合会(全生協組連)のまとめた2017年度上半期(4月～9月)の生コンクリートの総出荷数量によると、四国は165万5099立方mで前年同期比5.5%増と顕著な伸びを示した。香川、愛媛で増加した反面、徳島、高知県で減少した。

ME養成講座実習に協力 管路維持管理で点検実演

日本下水道管路管理業協会中国・四国支部(菊池英夫支部長)は1日、松山市中央浄化センターで管路維持管理の点検調査などを実演した。愛媛大学防災情報研究センターの社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座の実習



ME養成講座での実習

建設業を女性の一生の仕事に



建設産業女性活躍セミナー

国交省主催
産業女性活躍セミナー(主催・国土交通省、事務局・建設業振興基金)が7日に高松市内で開かれた。中小建設企業の経営者や管理者、女性技術者や技能者の他、建設産業に興味のある女性ら約30人が参加。女性

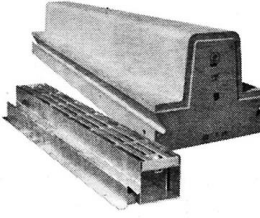
国土交通省土地・建設産業局の出口陽一氏が「最近の建設産業政策」について講演した。この後のパネルディスカッションで龍田氏と、地元建設企業で働く女性技術者や技能者ら5人のパネリストが自身のこれまでの経験を踏

土木設計施工技術力アップへセミナー

KTB協会、PCフレーム協会(いずれも長崎正和支部長、高知県土木施工管理技士会(田邊聖会長)は10月30日、高知市内で土木設計施工技術力アップセミナーを開

防草ブロックと防草エレファンダレン 17年度グッドデザイン賞受賞

防草研究会(名古屋市長緑区)らが開発した「防草ブロック」と「防草エ



「防草エレファンダレン」は写真が、日本デザイン振興会の2017年度グッドデザイン賞を受賞した。

道の点検と診断調査・補修作業などを説明した。参加者は自治体の工事担当者・建設コンサルタンなど約40人で、管路で見られる異常や補修方法について屋内実習で説明を受けた後、屋外実習で管路内高圧洗浄やTVカメラ調査の実演を見学。管路協会の担当者は、巡視点検、調査診断、清掃後、修繕改築の流れや確認項目、評価の仕方などの概要を解説した。

同製品は、植物の茎や芽が上方向に成長する特性を利用し、道路側溝部の目地部分などから成長する雑草を抑制。具体的には、目地を切り欠け構造にして雑草の成長方向を下向きに誘導すること

石綿含む外壁塗膜・ 下地調整塗材を除去

「SANKYO ウォータージェットシステム」
三共通商(松山市御幸1ノ306、高木啓志社長)は、アスベストが含まれた外壁塗膜・下地調整塗材の除去工法「SANKYO ウォー

効率的な洗浄、剥離除去▽工期短縮(雨天時でも施工可能)▽環境対策(溶剤系を使わず水のみを使用、同時吸引式で飛散事故ゼロ)▽高品質(積層塗膜および下地調整材も完全除去)▽廃水処理(PH中和処理を行い、アスベスト含有水をミクロン単位までろ過後、排水処理)など。アスベスト調査・診断・分析から除去工法の選定まですべてをサポートできる体制を整

で、雑草の成長を抑制している。従来の人的草刈りや防草テープなどの対策が必要になるという経済性や、植物の特性を利用し、防草を実現している点が評価された。

愛大・矢田部教授が講演

SSLアンカー協など
「SSLアンカー協など」きよう技術講習会開催

国・四国支部(湯浅克宏支部長)、Q&Sフレーム協会中国・四国支部(湯浅克宏支部長)はきよう、2017年度SSLアンカー・Q&Sフレーム工法合同技術講習会を開催する。場所はテクノプラザ愛媛(松山市)。

◇日本補償コンサルタン協会四国支部(二川益行支部長) 一あす15日に2017年度第2回成果品精度向上研修会(愛媛ブロック)を愛媛県武道館で開催する。時間は午後1時30分から

知以外の3県で増加した。一方、全国の上半期の生コン出荷量は、前年同期比2.3%増の4172万立方mで4年ぶりにプラスとなった。このうち官公需は前年同期比1

増の1662万立方m、民需は3.2%増の2510万立方mといずれも4年ぶりに増加した。

愛媛大学防災情報研究センター特命教授の矢田部龍一氏が「地盤工学から見た四国の地すべり」と題して講演する。時間は午後1時から。受講料無料(定員100人、先着順)。